

JF大分

## 水産おおいた

発行元  
大分県漁協

年頭あいさつ

大分県漁業協同組合  
代表理事組合長  
山本 勇新年明けましておめでとう  
ございます。組合員並びに職員の皆様に  
謹んで新年のご祝辞を申し上げます。昨年を振り返ってみますと、  
年始より70年振りの漁業制度改革に関する  
議論に終始いたしました。その  
結果として、年末の臨時国会で  
漁業法等の一部改正等に関するは大きく変化することが  
予想されます。

県漁協といたしましては、水産業の構造改革を重点として大幅に増額した国の次年度水産予算を大いに活用し、水産業競争力強化緊急事業、浜プラン・広域浜プラン、積立ぶらすや漁業経営セーフティネット構築事業、資源・漁場管理及び漁村活性化事業等を積極的に推進し、時代の変化に対応していくことが不可欠と考えております。

また、県漁協では出資金の減少、老朽化施設対策など経営環境がより厳しくなることが危惧されているため、店舗の統廃合・拠点化、業務の効率化、収益が見込める事業の重点化など体質改善を図っていくことが避けられない状況となっております。組合員と役職員が一丸となり経営基盤の強化を図っていくという機運がより一層高まってきたことを願ってやみません。

終わりにになりましたが、皆様のご健勝並びに

豊漁を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



大分県農林水産部

部長 中島英司

新年明けましておめでとう  
ございます。

大分県漁業協同組合の役職員並びに組合員の皆様方には平素から県水産業の振興に積極的に取り組んでいただき厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、昨年12月の臨時国会において改正漁業法が成立しました。これは70年ぶりの抜本改革とも言われ、資源管理の強化や新規参入の促進等を通じて漁業経営の体質を改善

し、成長産業への転換を目指すもので、2020年までに施行される見通しです。

県としては、水産業を取り巻く環境が厳しさを増す中、これをチャンスと捉え、養殖業と海面漁業の両面について、さまざまな取組を行うことにしております。

まず、養殖業については、これまで取り組んできた複合養殖やクロマグロなど新たな養殖の推進、赤潮や魚病対策に加え、産地加工の推進及びマーケットの開拓を県漁協とともに進めるとともに、ブリをはじめとする水産物の輸出の拡大も後押しします。また、養殖ヒラメの生産拡大や陸上養殖の赤潮被害軽減対策などにも取り組めます。

一方、漁船漁業については、これまで行ってきた種苗放流と小型魚の保護など漁業者による資源管理の強化、藻場の造成などの漁場改善を引き続き一体的に進めることで、経営の安定化を図ります。

さらに、低迷する水産物の消費拡大のためには、消費者との繋がりが大事であることから、引き続き毎月第4金曜日の「おおいた県産魚の日」を中心とした魚食普及活動を支援することとしております。

以上のような各種施策に取り組み、本県水産業がより発展するよう進めてまいりますので、県漁協の皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、本年が幸多き年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 全国漁業協同組合 連合会代表理事会長

岸 宏

新年あけましておめでとうございます。

全国の組合員並びにJFグループの皆様は、新年のご挨拶を申し上げます。

振り返りますれば昨年は、70年振りの漁業法改正を含め、わが国漁業の成長産業化に向けた本格的な改革の議論が行われた歴史に残る1年でした。

わが国漁業は、2013年から産出額が上昇に転じ、若い就業者が増える等、明るい兆しが見えております。そして我々JFグループは、6年前から「浜の活力再生プラン」の実践に努め、その成果が確実に出てきており、浜は活気を取り戻しつつあります。

こうした中、改革の議論は進められましたが、我々の最大の関心事である漁業権制度については、今後とも維持するこ

とが明確にされ、共同漁業権はこれまで通りJF・JF漁連以外には免許されないこと、区画漁業権等は、漁業権を適切かつ有効に利用しているJFに対して優先して免許されること等が定められたところです。

今後、我々はこの水産改革を自らの課題とし、不退転の決意をもって、水産日本の復活に向け、必要な改革を大胆に進めていかなければなりません。

このため、昨年11月には全国漁民代表集会を開催し、我が国水産業の輝かしい将来を築くため、浜の再生に果敢に取り組むことを誓い、充分な財政的支援措置を含めた革新的な政策の確立を関係要路に強く要請したところです。その結果、昨年を大幅に上回る予算を勝ち取ることができました。ここに改めまして、

会員並びに関係の皆様のご協力・ご支援に對しまして御礼申し上げます。一方、現下の漁業環境は、不安定な燃油価格、

外国船による違法操業問題、風評被害対策を含む復興支援など、依然として課題は山積しております。このような中、本会は新年度から新たな5カ年の中期経営計画に取り組んで参ります。

また、水産改革が運用面において漁業者の理解を得られるよう対応していくほか、浜プランの取り組み支援、次世代を担う中核的漁業者の育成、産地市場統合等の流通構造改革、輸出振興を含めた水産物消費の拡大等に取り組み、浜の構造改革や所得向上に向けた漁業者の取組を支援して参る所存です。

最後になりますが、全国各地で活躍の漁業者の皆様は、操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

農林中央金庫  
福岡支店長

及川 勝治

新年明けましておめでとうございます。

大分県漁業協同組合の役員ならびに組合員の皆様方におかれましては、お健やかに平成三十一年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、私も農

林中央金庫の業務につきましても、日頃から格別のご理解と協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、JFマリンバンクでは頼れる浜の金融機関として、組合員の皆様に引き続き安定的な金融サービスを提供できるよう取り組んでいくとともに、漁業金融機能の強化と浜との接点強化をキーワードとして、より一層の経営力強化・事業変革に取り組んで参ります。

浜との接点強化に関しまして、JFマリンバンク中期事業推進方策において、家計メイン化に取り組んでいくことにしております。漁協様におかれましては、大分県域独自キャンペーンの「マンボウ貯金」について引き

続きお取組みいただき、より一層の浜の活性化にご尽力いただくことをご期待いたします。

大分県域では、特産のブランド牡蠣「ひがた美人」や「関あじ 関さば」、

「かぼすブリ」をはじめとする多様な養殖魚等、豊富な漁業資源がございます。農林中央金庫とい

たしましても、微力ではございますが、国内外の各地で開催される商談会や、個別企業とのビジネスマッチング等を通じての販売支援に積極的に取り組んで参ります。

今後とも、浜の活性化に資するため、私も農林中央金庫といたしましても、微力ではございま

すが、大分県漁業協同組合の皆様との連携を深め、金融・非金融の両面でのサポートを努力して取り組んでまいり所存でございます。

最後になりましたが、皆様方にとって本年が実りの多い年になりますことを心から祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 編集後記

松葉杖がとれ、新たな気持ちで新年を迎えることができました。

皆様の挨拶のとおり、水産業には大きく変化していく年になりそうです。役職員一体で、乗り切って行きましょう。

全国合同漁業共済組合  
大分県事務所長 成松 和寿

全国共済水産業協同組合  
大分県事務所長 山本 勇

日本漁船保険組合  
大分県支所 運営委員長 北村 昭雄

大分県漁業信用基金協会  
理事長 村井 尚

謹賀新年

